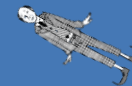


JUNICHI式 ライティングマニュアル (基本編)





はじめに

今回のマニュアルでお伝えする内容は
WEBライティングをする上で、
必ず守ってほしいポイントをまとめています。

とは言うものの、初めから全てを完璧にできなくても
問題はありません。

マニュアルの内容がしっかりと身につけば
確実にあなたのWEBライティングのスキルは上がります。

必ず今後のブログ執筆活動や
ライティング活動に役に立ちます。

ぜひ、このマニュアルを活用下さい。





分かりやすいWEB文章の構成

①記事のタイトル

②アイキャッチ画像

③導入部分・つかみ

④見出し

⑤本文

④見出し

⑤本文

⑥まとめ

⑥まとめ部分

分かりやすいWEB文章は

①記事のタイトル

②アイキャッチ画像

③導入部分・つかみ

④見出し

⑤本文

⑥まとめ

の6つの要素で成り立っています。





①タイトルのつけ方

●ポイント1

SNS (FacebookやTwitterなど) で、ついついクリックしたくなるような、インパクトのあるタイトルを付けて下さい。

●ポイント2

タイトルを見ただけで、本文の内容が想像できるものにして下さい。

●ポイント3

煽りすぎ、「www」「(°Д°)」などの言葉は禁止です。

●ポイント4

必ずキーワードを入れる

参考記事：<http://junichi-manga.com/hatebu-2014-top11-title/>





あまり良くないタイトルの例

- 伊勢観光についてのまとめ
- エビの調理法
- 大阪梅田のおすすめのランチのお店を紹介します
- ちゃんと整理整頓できる方法
- エキスポシティへ行ってきた

インパクトが無く、なかなか読む気になれない！

特別感、手軽感、具体的数字など工夫しましょう！



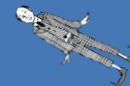


魅力的なタイトルの例

- 初めて伊勢に行くならここで決まり！伊勢観光スポット厳選10選
- 5分で激ウマ！見習い主婦必見のエビチリ調理法
- サラリーマン必見！大阪梅田で500円以下でいけるランチ12選
- カリスマ主婦が教える100均グッズを使った整理整頓術！
- 初日来場者4000人！エキスポシティが凄すぎてまた行きたい！

是非前のページのタイトルと比べてみて下さい。





②アイキャッチ画像

●ポイント

記事の内容をイメージさせるような、関連する画像を用意してみてください。

著作権違反には気を付けて下さい。
著作権フリーのサイトは以下のサイトがあります。

参考サイト：<https://pixabay.com/>

さらに、画像を加工してもっとインパクトを持たせたいなら、以下の記事を参考にしてみてください。

参考記事：<http://junichi-manga.com/5min-making-eyecatch/>





③導入部分・つかみ

●あくまでも「つかみ」の部分です。ダラダラ書きすぎない。200～400文字程度で十分です。

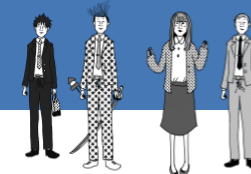
●読者が「これは自分に関係ありそうだ」と思ってもらえるように工夫をする。

問題提起 ⇒ いきなり結論 ⇒ 結論の根拠

の流れがスムーズで分かりやすいです。

例：「伊勢旅行に行こうと思っても、どこがおススメスポットが分かりませんかよね？今回は伊勢旅行をするなら絶対外せないおすすめ観光地を、10カ所ご紹介します。どれも、ガイドブックで大きく取り上げられるスポットばかりです！」

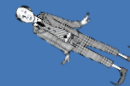




④見出し

- 一つの話題ごとに、入れて下さい。
- 目安としては、300～500文字につき1つ見出しを入れる
- 見出しは、続く本文に何が書かれているのかが分かりやすいものにして下さい。
- 見出しが適度に入っているWEB文章は、読みやすくなります！
 - ・目の休めどころになる
 - ・読み手が、頭の整理ができる
 - ・まとまりのある文章が書きやすい





見出しが無いと読みにくい…!

誰かに何かを教えることを商売にしているあなたは、自分の「ノウハウ」や「知識」を売って食べていますよね。

『だからさあ、ブログに自分のノウハウや知識を出してしまうと、読者さんが自分でやってしまっ、お客さんが減ってしまふんだよ。そうだろう？え？あ？う？』

みたいに思うかもしれませんが。わかります。痛いほどわかります。でもですよ、実際にあなたが教えようと思っているノウハウって、もうWEB上にほかの人が公開して、無料で落っこちてないですか？

今の時代、『え！？ここまで教えてくれるの？』っていうノウハウが、インターネット上にはゴロゴロ落ちています。

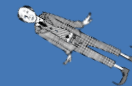
安心してください。あなたが出し惜しみをしている間に、もうそのノウハウは世の中に無料で配られています。それくらい質のいい情報が増えてきています。

WEB集客をやろうと思っている人のほとんどが知っているであろう、この神様みたいなサイトに『バズ部』というサイトがあります。

ぶっちゃけ言います。僕はバズ部様のコンテンツを教科書にしてWEBマーケティングを1か月くらい思いっきり勉強しました。別にお金を払ってWEB集客を習ってません。

それでも、今は月間33万PVのブログに成長してるし、ブログ集客をお仕事にして一人で食べていけているくらいのビジネスが作れました。





見出しがあると読みやすい！

1. ノウハウを出したくない気持ちはよくわかる

誰かに何かを教えることを商売にしているあなたは、自分の「ノウハウ」や「知識」を売って食べていますよね。

『だからさあ、ブログに自分のノウハウや知識を出してしまうと、読者さんが自分でやってしまっ、お客さんが減ってしまうんだよ。そうだろう？え？あ？う？』

みたいに思うかもしれませんが。わかります。痛いほどわかります。でもですよ、実際にあなたが教えようと思っているノウハウって、もうWEB上にほかの人が公開して、無料で落っこちてないですか？

今の時代、『え！？ここまで教えてくれるの？』っていうノウハウが、インターネット上にはゴロゴロ落ちています。

安心してください。あなたが出し惜しみをしている間に、もうそのノウハウは世の中に無料で配られています。それくらい質のいい情報が増えてきています。

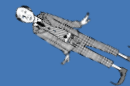
2. こんな情報が無料で読めるなら、WEB集客は自社で全部できるはず

WEB集客をやろうと思っている人のほとんどが知っているであろう、この神様みたいなサイトに『バズ部』というサイトがあります。

ぶっちゃけ言います。僕はバズ部様のコンテンツを教科書にしてWEBマーケティングを1か月くらい思いっきり勉強しました。別にお金を払ってWEB集客を習ってません。

それでも、今は月間33万PVのブログに成長してるし、ブログ集客をお仕事にして一人で食べていけるくらいのビジネスが作れました。

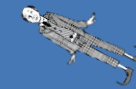




⑤本文について

- できるだけ1文1意で、短めに1文を切ってください。
「～で、～だが、～なので、～です。」なんて書くと、主語・述語・目的語がどこにかかっているのかが分かりにくくなります。
- 語尾は同じものが続かないようにする。
「～です。次は～です。そして～です。」⇒です、です言い過ぎて読みにくい。
- 二重否定は避ける。
「～でない事はない」⇒分かりにくい
- 文章の途中で改行しない。「～。」「～！」「～？」まで必ず続けて書ききる。
(スマホやタブレットで見た時に変に改行されてしまう事を避けるため)
- 段落と段落の間は、空白の行を1行分はさんで下さい。

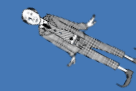




⑤本文の中にも積極的に 画像・図・グラフを入れよう

- 画像があると、目の休めどころになります。
⇒500～800文字につき1つあると、読みやすい文章になります。
- 画像は、その後続く文章に関係のあるものにして下さい。
- WEB上で反応が良い画像は「女性」「ふわふわの動物（特に子猫）」「赤ちゃん」「子供」です。関係がありそうなら、是非積極的に使いましょう。
- 適切に図やグラフがあると、説得力のある文章になります。
自分で作れる場合は、Excelなどで作ってみましょう。

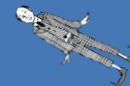




⑥まとめ

- 本文のしめの部分です。まとめがあると、文章全体が引き締まります。
- まとめには、本当に伝えたい事を簡潔に伝えるようにしてください。
(ダラダラ書かない)
- 今回書いた内容のポイントを箇条書きで並べてもOKです。

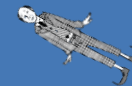




絶対守ってほしいルール

- 他のサイトの文章を紹介するときは、必ず「引用」と分かるように「引用タグ」をつけ、引用元のページのリンクを紹介する。
- 漫画のコマの画像や他のサイトの画像を勝手に使わない。
(必ずフリー画像のサイトを使うようにしてください)
- 専門用語やカタカナ用語は多用しない。
(中学1年生でも分かるような文章にすることが大切です。)





絶対やってはいけない禁止事項

●他のWEBサイト、ブログのコピペ。または語尾や数字だけを変えたもの。

●他のサイトのグラフやデータをそのままコピペ。

⇒必ず「出典：<http://~~~~>」と参考サイトにリンクを貼りましょう。

●他のサイトやお店の悪口・誹謗中傷

例：「△□レストランはクソまずい」

●根拠のないこと、ウソ

例：「レギュラーガソリンに、軽油を混ぜると燃費が5 km/L伸びる」

●犯罪を勧める・助長する事

例：「コンビニのバイトに入って、こうすればタダで弁当が食べられる」

